

公表	事業所における自己評価総括表
----	----------------

○事業所名	放課後等デイサービスばれっと北光			
○保護者評価実施期間	2024年 12月 14日		～	2024年 12月 28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	20名	(回答者数)	16名
○従業者評価実施期間	2024年 12月 14日		～	2024年 12月 28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5名	(回答者数)	5名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 1月 15日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	空間が広く、運動を通して協調性や人への気配りを身につけコミュニケーションの取り方を学んでいます。同じ感覚の中でも、気持ちの切り替えができる環境づくりをしています。子どもたちが集中できる環境をしています。	子供の成長に応じて、適切な支援を行い自分の意思を伝えられるように職員が寄り添い、安心して過ごせるように取り組んでいます。	場面に応じた行動、人との距離間、コミュニケーションを理解身につけられるように、職員が声掛けや見守りをして支援しています。
2	経験が豊富な実務経験の長い職員が在籍しており、協調性も高く、連携がスムーズで、様々な事に対応してきた実績があります。	各職員が、子供たちの今の状況や状態をとらえ、活動状況を記録し、情報共有を行うことで現在の課題を見出し、対応しているようにしています。また、トラブルが起きた時は、子供たちの意思を聞き説明や自分の気持ちを整理して話し合いを行うことで行動や振り返りを出来るようにし、適切な言動・行動が出来るように取り組んでいます。	本人の今後の目標や理想について考えてもらい、自分自身を評価して、反省すること、次につながる意欲に繋げる支援をしています。今後の進路や現在の不得意な部分を踏まえ、本人に適性した取り組みをさらに充実させていきます。
3	日課である集団活動で他児とのコミュニケーションや協調性を図ったり、個別活動の際は、個々の特性や課題、家族のニーズ、子供たちの得意不得意に応じて療育教材を使用したり、職員が必要時に手助けをして取り組んでいます。療育教材は、機能訓練や作業、言葉や物の理解に対応した教材を作成しています。	職員が作成した個別支援計画を周知し、計画に基づいて療育教材を使うことで現状よりレベルアップしていけるように工夫して療育教材を作成しています。また、集団活動の際には新しい取り組みを入れてみたり、普段している活動のルールに変化を持たせ、飽きさせることなく活動に意欲を持って取り組めるように工夫しています。	家族のニーズや本人が進む進路、今のレベルに合わせた取り組みや活動をしていきさらに充実させていきます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	共働き世帯の保護者が多かったり、駐車場も確保できていないため保護者など交流する機会が設けられていません。活動や普段の様子を見学してもらい、子供たちの頑張りや事業所の取り組みに対し評価的に見学してもらったうえで、保護者会など情報共有出来る機会を設け、日々の子供たちの育児に対する悩みの相談や事業所への意見などを話す機会を設けたいと思っていますが、進まない状況です。	事業所の立地などの現状により容易に改善できません。	事業所内での交流は難しい為、個別で面談日程を組み日々の活動状況を共有する機会を設けていきたいと考えています。また、多忙なご家庭もある為、その場合は帰りの送迎時に様子をより詳しく伝えるようにしています。また、福祉センターなどの公共施設で活動する日を利用して、保護者との交流の機会を設けたいと考えています。
2			
3			